

【ACKグループが定例会 重点計画の成果共有 技術を高度・総合化】

重点計画の成果共有 技術を高度・総合化

ACKグループが定例会

ACKグループは4日、東京都渋谷区の本社で第24回定例会を開き、グループ会社を取り組む重点化プロジェクトの成果などを情報共有した。写真。

ビジョン・2025年中期経営計画の強化方針である「個の強化」「国内外市場の競争力強化」「連携の強化」をグループ全社が一丸となつて推進するための場となる定例会には、本会場に加え、テ



レビ会議やインターネトライブ中継で接続した全国20カ所以上の拠点からグループ各社の役職員が参加した。

今回は、5件の重点化プロ

ジェクトについて、その成果と今後の展開などが発表され、活発に質疑も交わされた。インターネット投票の結果、「インフラ施設の個別施設計画策定支援」を発表した佐古憲彦氏（リサーチアンドソリユーション）が最優秀賞に選ばれた。

最後に野崎秀則社長は「チャレンジ精神を忘れず、重点化プロジェクトを展開することが重要。今後もさらに技術の高度化、総合化に努め、国内外の多様なフィールドで次の展開に向けて事業拡大を進めてほしい」と締めくくった。